


ふりがな 氏名	よしか ゆうじ 吉岡 雄志	都道府県	岡山県	
所属/肩書	岡山県立矢掛高等学校 教諭 (軟式野球部監督、ESD推進係)			
私のESD活動	地域の教育力を活かし、地域に支えられ、地域を支えるための学校に近づけるためのとりくみ			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

①2014年の「ユネスコスクール世界大会高校生フォーラム」の委員として世界会議の運営にむけたESDセミナーの運営に関わった。また、2012年度に行われたユネスコスクール日中韓フォーラムや2013年度のUNESCOアジア太平洋地域高校生ESDフォーラムの運営にも関わった。

②地域と高等学校が密接に結びつきあう方法を考え、実践を行ってきた。本校に赴任し、環境教育に関わる授業を担当し、教材の開発や小学校での出前授業を行った。本校はユネスコスクールに認定され、矢掛町と協定を結び、毎週決まった事業所(教育施設や福祉施設など)で1年間の実習を行う学校設定科目「やかげ学」を取り入れている。官民学が一体となって町内唯一の高校である本校の生徒を教育していく仕組みの改善を行っている。生徒は教員以外の大人と接する機会が増え、有効なキャリア教育の機会である捉えている。さらに、中山間地域に存在する持続可能な社会の実現を阻害する要因を自分のこととしてとらえるきっかけともなっており、進路意識や学習意識の向上に確かな効果がみられる。また、授業以外では、顧問として軟式野球部の「おにぎりプロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトは、地域の方からお米をいただき、毎日の練習後に生徒がおにぎりを食べるというもので、SNSやホームページ、最寄りの矢掛駅の空きスペースを活用し、野球部の活動や試合結果の報告とともに、お米の提供を呼びかけている。その結果、地域の方が学校へ関心をもつていただくことにつながり、地元企業の支援も受けることができるようになった。地域のための学校、学校のための地域という良好な関係を築くための一歩となっている。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？

本校で行っている「白石島ESDプログラム」、「徳島県上勝町視察」、「真庭市バイオマス研修」、「YAKOアワード」や地域で行われている「YKG60」の活動をよりよいものに改善していきたい。また、その活動を他の地域でも実践できるようなものに昇華させていきたい。さらに、本校で行っているESD活動に他校の生徒や地域の方、大学生や大学の先生にも関わっていただき、広い学びの場としていきたい。さらに、高知大学や静岡大学をはじめとして近年、地域系の学部が整備され地域コミュニティを守ることや地域産業の創出、地域文化の継承の手法を学ぶ機会が多く提供されている。進路指導を通じて地域活性化のリーダーを作り出していくことが、中山間地域の高校に勤める教員の責務だと考えており、大学選びや震度指導に役立てたいと思っている。大学で中山間地域型の問題や都市型の問題を深く学習した学生が地域に帰ってくる流れを作ることができれば、人材の流出に苦しむ中山間地域の持続発展につながると考えている。